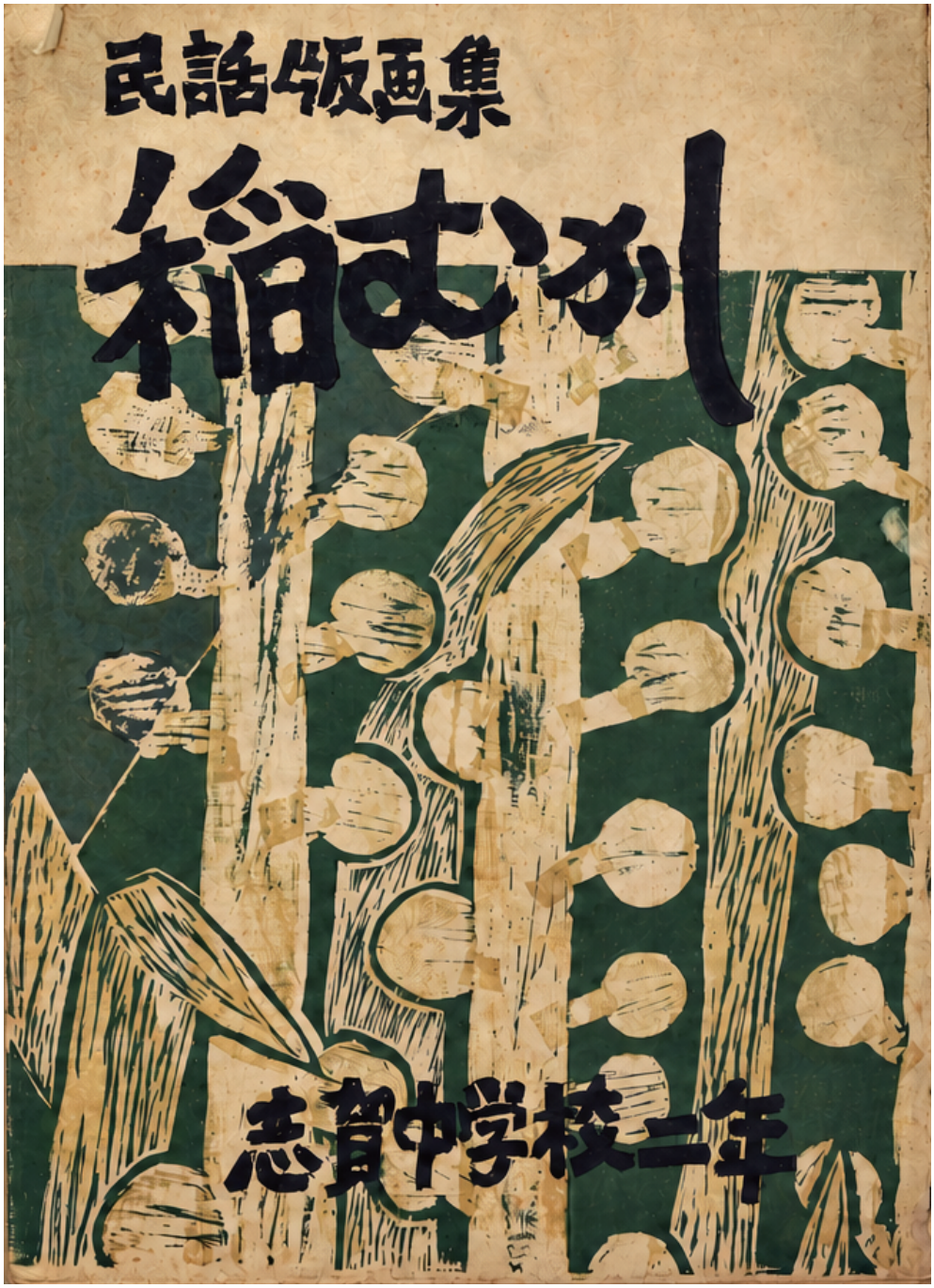
志賀町の宝 教育版画からみる戦後日本

2つの大田耕士旧蔵資料をめぐって

小・中学校で版画を経験した方も多いはず。その背景にあった「教育版画運動」を、志賀町と五所川原市に残る大田耕士旧蔵資料から読み解き、保存・活用を考えます。



石川県羽咋郡志賀町志賀中学校2年『民話版画集 稲むかし』指導：前田良雄、1963年3月、志賀町蔵（大田耕士旧蔵）

登壇者

森田 真一
志賀町立志賀中学校元校長
志賀町版画協会

藤田 敏幸
つがる市立車力小学校元校長
西北美術教育研究会元会長

佐藤 絵里子
弘前大学教育学部准教授
（※オンライン参加）

●科研費基盤研究(C)共同研究チーム

町村 悠香（町田市立国際版画美術館・学芸員）**角尾 宣信**（和光大学表現学部・准教授）
笠原 良太（実践女子大学生活科学部・講師）**高原 太一**（成城大学グローカル研究センター・研究員）

シンポジウム

2026 11/23（月・祝）
14:00-17:00
オンライン同時配信

【会場】志賀町地域交流センター
〒925-0125 石川県羽咋郡志賀町西山台1丁目1

入場無料・先着50名
オンライン配信は右のQRコードより
ご視聴いただけます（▶）

【主催】科研費基盤研究(C)「教育版画運動から探る高度経済成長期の地域と生活の変容ー大田耕士旧蔵資料の調査研究(24K04189)」共同研究チーム【共催】成城大学グローカル研究センター【協力】志賀町版画協会【協賛】志賀町教育委員会【問い合わせ先】glocalstudies@seijo.ac.jp（詳細は成城大学研究機構グローカル研究センターHPの「NEWS」をご覧ください）